

国民の食料安全の

講演「日本の食料が危ない」

(鈴木宜弘氏 東京大学大学院特任教授) を聞いて

国民の安全保障の基本は食料とエネルギー。食料問題の第一人者でたびたび国会の参考人やメディアに登壇する鈴木先生の講演(あびこ市民プラザ)で印象に残っている言葉をいくつか紹介したい。「局地的な核戦争がおきたら世界で2.55億人、日本人の3割7200万人が餓死する(米ラストガース大学研究所)」「備蓄米でのごとはいかない。国民の1.5ヶ月分しか備蓄していないから(中国は1年分以上の穀物を備蓄しているが)」「米やカナダ



から買えばいいとも言えない。日本はすでに買い負けしているし、有事には輸入の海上

ルートは期待できない」「世界第二位の小麦生産国のインドが自国民を守るために小麦として米も輸出を禁止」つづき「自国民の食を守るために、穀物生産国、20カ国が輸出禁止」だから「非常時にはサツマイモを法令で作らせ、国民は三食イモを喰えと政府は言い出している」「イモだつてすぐには生産できないから国民は餓死する」「食料自給率が38%だから6割は生き延びられるとはいかない。

コメ農家の時給が10円、頑張ってもあきらめざるを得ない

野菜の種も、窒素、リンなどの肥料の大部分輸入、酪農の飼料も、ニワトリのヒナも大部分が輸入「頼りのコメは少し不作だったり、訪日外国人が少し増えただけで米不足が起きる程のコメ農政」「米農家の時給が10円、頑張つて米つくりを諦める」た方が米つくりを諦める」「一番インフレに強いコメ作りをどんどん縮小させ、1300万トン生産能力があったのに今では700万トン」「このままでは10年後には日本の農業・農村が崩壊する」「アメリカは米は主食でないが、一俵を生産コストの12000円で政府が買い、消費者には4000円で提供する、カナダもEU各国もやっている価格保証制度が必要」「農業生産者年齢平均が69.4才、後継者づくりが急がれる」「食料は外国から買えばいいとの農政を変えなければ、食糧危機はすぐ来る」(S・A)

布佐天台宗西光山勝蔵院を訪ねて

成田線布佐駅北口から徒歩約10分。前回訪ねた延命寺の他に布佐のお寺があるというので、訪ねることにしました。驚いたことに、延命寺の向かい側の道を入つてすぐの所でした(写真)。しかも、前回その境内の一部を見ていたのでした。「勝蔵院の開山は不詳ながら、文禄元年(1592)に創建、宝永2年(1706)法印

(1500) 孝順が中興開山したといひます。寛永7年(1630)の検地に当たり、寺内二反歩が除地(免税地)引用者となつていたので、江戸時代はじめには寺院として確立していたことが分る。寺地は、手賀沼畔にかけての低地に臨む台地の端にあり、西南の方角に和山城趾と伝承されている中世遺跡があつて、その一角の和田塚から明応九



お寺でした。(里)

※法律相談(相談無料)・岩井事務所にて毎月第4木曜日(2時~4時)開催しています(事前に「ご連絡ください」047-188-2141

文芸欄

短歌

※寄稿・投稿をお待ちしています

寒空に公園の紅梅満開なり

春待つところ温みふくらむ

七丁目 山野 美津

競い合う自国ファーストに

壊れゆく地球の先に未来はあるや

五丁目 鈴木 明

受話器より老友の大声春隣り

三丁目 松永美穂子

餅つきや小さき杵をふり上げて

七丁目 柴田 益雄

白梅の蕾の丸み笑みふたつ

七丁目 山里 歩

非正規の壁にこそあれメディアの目

五丁目 一言有三

「我孫子市の教育をよくする会」の発足を

1月25日14時から近隣センター「こもれび」で「我孫子市の教育をよくする会」発足の総会が開催されました。呼び掛けに賛同した市内の団体、個人が参加しました。参加者から教育問題だけでなく、給食などの問題も含め運動を行うのが良いなどの意見、質問が出ました。呼び掛けの代表から「我孫子市は、2020年に『学校の在り方検討委員会』で決定した布佐小・布佐南小・布佐中学校3校を一体型小中一貫校にする

る提言を受け、第一回総合教育会議で討議した結果、提言を実現するよう確認しました。今後は、布佐地区に続き湖北台、我孫子地区でも学校の統廃合が計画されて行きます。」との説明がされました。私たちは、不登校の問題・給食費の無償化・教育不足・教科書採用問題等が山積して決する為にも「会」の運動を進める役員体制、財政等について次回から話合うことを確認しました。G・H

我孫子市議団ホームページ
(<https://jcp-a-biko.com/>)



政治革新の道しるべ、
真実をつたえ希望をはこぶ新聞です

しんぶん赤旗

刊紙●月 3497円
日曜●月 990円
※こちらから申し込みます
日本共産党本部QRコード→

